

|           |      |                   |      |      |
|-----------|------|-------------------|------|------|
| p. 92, 93 | 大単元名 | 3年 わたしたちのまちみんなのまち | 小単元名 | 市の様子 |
|-----------|------|-------------------|------|------|

【指導に当たって】

仙台市内の主な公共施設について取り上げている。また、校外学習等の事前指導の資料としても活用できる。

セルコホームズーパラダイス八木山  
(仙台市八木山動物園)  
1936年に日本で11番目の動物園として仙台市花壇に開園した。1965年に現在の八木山に新築移転した。

弘進ゴムアスリートパーク仙台(仙台市陸上競技場)  
2009年に宮城県から仙台市に譲渡される。2011年にはトラックの大規模修理が行われた。

せんだいメディアテーク  
2001年に開館。仙台市民図書館、ギャラリー、イベントスペース、ミニシアターなどからなる。全面ガラス張りの建築は建築家伊藤豊雄の代表作と言われる。写真右はメディアテークに併設されている仙台市民図書館。

仙台市天文台  
1955年に西公園内の仙台市公会堂跡地に開台。2008年に現在の青葉区錦ヶ丘に移転、開台した。



スリーエム仙台市科学館  
昭和43年に仙台市中心部に開館。平成2年に現在の台原森林公園内に移転した。

震災遺構仙台市立荒浜小学校  
被災した校舎のありのままの姿と被災直後の写真展示により、津波の威力や脅威を実感してもらうことを目的に、平成29年4月、公開が始まった。

仙台うみの杜水族館  
「復興を象徴する水族館」として、2015年に開館。80年の歴史を閉じたマリニピア松島水族館の一部を引き継ぎ、さらにスケールの大きな展示やイベント等を展開する。

仙台文学館  
郷土ゆかりの文学に関する資料を収集保存するとともに、地域の文学活動の拠点となることをコンセプトに平成11年に開館。

|           |      |                  |      |          |
|-----------|------|------------------|------|----------|
| p. 94, 95 | 大単元名 | 5年 わたしたちの生活と工業生産 | 小単元名 | 工業生産を支える |
|-----------|------|------------------|------|----------|

【指導に当たって】

地域の工場を取り上げる場合、工場見学を学習計画に位置付けることができる。また、工業製品と自分たちの暮らしの結びつきに気付かせたい。

仙台味噌  
仙台藩では、城下に御塩噌蔵(おえんそぐら)を作らせ、ここで味噌の醸造や貯蔵をさせた。また、江戸にあった仙台藩の屋敷では、江戸にいる藩士のために味噌を作っていた。これを近所の住人の求めに応じて分け与えたところ、江戸中の評判になったという。

「輪転機」  
最大40ページ、24個面カラー印刷が可能な高速タワー型オフセット輪転機(17万部/時)を4セット備えている。

おけがえ  
「桶替え」と書き、樽に入っている味噌をスコップですくい、別の樽へと味噌を移す作業のこと。多くの空気と触れさせることで味噌のおいしさが増す。



環境に優しい取組  
インキのVOC(Volatile Organic Compounds=揮発性有機化合物)を低減するために使用する溶剤の一部を大豆油に置き換えたSoy Ink(大豆油インキ)を使用している。

仙台みそをつくる工場  
仙台市内に残る伝統的な味噌作りの様子を学習する手がかりとなる。昔ながらの道具に加え近代的な道具も使って仕事が進められている。

新聞工場見学の申込先  
河北新報社 総務広報部 見学担当係  
Tel.022-211-1473 Fax 022-211-1448

|           |      |                                       |      |                                |
|-----------|------|---------------------------------------|------|--------------------------------|
| p. 96, 97 | 大単元名 | 4年きょう土のはってんにつくす<br>5年情報化した社会とわたしたちの生活 | 小単元名 | 地いきのはってんのために<br>情報産業とわたしたちのくらし |
|-----------|------|---------------------------------------|------|--------------------------------|

【指導に当たって】

- 河北新報の創設に関わった一力健治郎についての資料として活用できる。
- NHK仙台放送局を例に、ニュース番組が放送されるまでの流れをつかませることができる。

河北新報社の設立

「東北振興」等の言葉から、河北新報社設立時の一力健治郎の思いをつかませたい。また、こうした考えが現在にも引き継がれていることにも気づかせたい。

NHK 仙台放送局

放送局では学校の見学受付を行っている。  
所在地：青葉区本町2丁目20-1  
見学の受付：022-211-1001

一力健治郎

1863年、仙台市の町に生まれる。20歳を過ぎ、東華学校(仙台第一高等学校)、旧制第二高等学校(東北大学)、東京の学校にも進学。市会議員や県会議員を務めた後、新聞を東北地方の文化と産業の発展に役立てようと、河北新報社を設立。1897年、33歳で河北新報を創刊。当時は新聞をとる人が少なく苦しい経営だったが、様々な努力を重ねた。



河北新聞の昔と今の紙面を比較できる。  
昔の紙面：明治40年6月22日発行  
今の紙面：平成30年2月17日発行

ニュース番組が放送されるまで

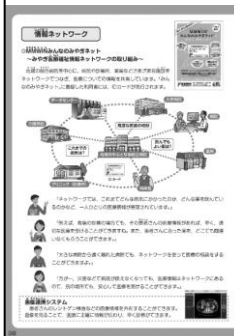
ニュース番組が放送されるまでの流れをつかむことができる。放送局の見学を取り入れる場合は、放送の仕方や放送局の様子を見学するとともに、放送に携わる人々がどのようなことに配慮しているのかについて、つかませたい。

|       |      |                         |      |          |
|-------|------|-------------------------|------|----------|
| p. 98 | 大単元名 | 5年 情報化した社会と<br>わたしたちの生活 | 小単元名 | 社会を変える情報 |
|-------|------|-------------------------|------|----------|

【指導に当たって】

「みやぎ医療福祉情報ネットワーク」の取組を例に、情報ネットワークが医療・福祉の場で活用されている事例の資料として活用できる。こうした取組が人々のくらしにどのように役立つのか考えさせたい。

東日本大震災では、多くの病院が津波の被害を受け、患者のカルテなども消失した。これにより、患者の病気の症状や投薬の履歴など医療情報も喪失し、被災した人々に、適切な医療を施すことができなくなった。そこで、当時、被災地の医療に携わった災害救助医療チームを中心に医師、看護師、研究者等、医療・福祉に携わる人々が集まり、「医療情報さえあれば、助けられる命がある…」という思いから、この組織を立ち上げている。また、県内では従来、遠隔地医療の問題を抱えており、これらの解決策として有効な手段であると考えられる。



2013年、石巻・気仙沼地区で運用が始まり、同地区では88の施設がネットワークに参加している。さらに他の地域でもネットワークの構築を行い、2018年、仙台市内で357の施設が参加している。市民は、事前の登録をすることでこの制度を利用することができる。

1人に関わる主な医療情報

例：病院・診療所→診療情報、薬局→調剤情報、介護施設→介護情報  
医療情報を共有することで、医療・福祉機関、患者、双方のメリットが得られる。また医療情報をデータセンターに集約することで、医療情報の消失を防ぎ、災害に強い医療体制を構築している。

参考 一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会  
ホームページ <http://mmwin.or.jp/>

|       |      |                   |      |               |
|-------|------|-------------------|------|---------------|
| p. 99 | 大単元名 | 3年 わたしたちのまちみんなのまち | 小単元名 | 市の様子          |
|       |      | 6年 日本の歴史          |      | 縄文のむらから古墳のくにへ |

【指導に当たって】

歴史の学習の入り口として、仙台市内にある遺跡や施設の見学を取り入れたい。地底の森ミュージアム、縄文の森広場では、見学のワークや体験メニューを用意している。

仙台市富沢遺跡保存館 地底の森ミュージアム

富沢遺跡は仙台市の東南部に広がる面積が約90haという広大な遺跡。昭和57年(1982)から発掘調査が行われ、弥生時代から明治時代にかけての大規模な水田遺跡として知られるようになる。その後の調査で下層から縄文時代の層が確認され、昭和63年(1988)に初めて旧石器時代のたき火跡が見つかったことから、富沢の歴史が2万年前の氷河期までさかのぼることが明らかになった。



仙台市縄文の森広場

昭和55年(1980)に発掘調査が行われる。縄文時代のムラ全体の様子が分かる遺跡として保存される。「上ノ台」という地名が表すように、標高55mの見晴らしのよい高台に位置する。太古には南側を流れている名取川の河原だったために、ほぼ平らな土地になっている。縄文のムラがあった頃は今よりも近くを名取川が流れ、台地のまわりには豊かな森が広がっていたと考えられる。

仙台市の遺跡

市内には多数の遺跡があるが、代表的な遺跡として遠見塚古墳を紹介している。市内の遺跡については、市文化財課のホームページからも調べることができる。

|             |      |          |      |             |
|-------------|------|----------|------|-------------|
| p. 100, 101 | 大単元名 | 6年 日本の歴史 | 小単元名 | 戦国の世から江戸の世へ |
|-------------|------|----------|------|-------------|

【指導に当たって】

○ 仙台藩62万石の基礎を築いた伊達政宗の生涯について紹介している。全国統一を進めた3人の戦国武将（織田信長、豊臣秀吉、徳川家康）と関連付けた学習の展開も可能である。

仙台市博物館

博物館では伊達政宗や仙台藩の様子について学ぶことができる。施設を利用し、実物資料を見ながらの学習を展開したい。

政宗の持ち物

政宗のよろいかぶとからは戦国時代の戦の様子を想起させることができる。陣羽織やブローチから、当時南蛮文化が伝来し、政宗が目をつけていたことをつかませることができる。

「伊達政宗画像」

両目が描かれていることなどに着目させ、後に独眼竜と言われた政宗のエピソードに興味を持たせたい。左上は、政宗が晩年、自分の気持ちを詠んだと言われる漢詩。



年表

戦国の世から江戸時代へと活躍した政宗の生涯についてつかませることができる。

伊達 政宗

永禄10年(1567)、米沢(山形県米沢市)に生まれる。父は輝宗、母は山形城主最上義光の妹にあたる義姫。幼少期に右目を失明し、後に「独眼竜」と呼ばれる。18歳で家督を継いだ政宗は、翌年の父輝宗の非業の死を乗り越え、蘆名、相馬、大崎、最上など、近隣の戦国大名らと戦う日々を送る。しかし、この頃豊臣秀吉による天下統一が推し進められ、豊臣政権下の大名へと転身することになる。豊臣と徳川の対立による動乱の後、徳川幕府が成立し、江戸時代を迎える。政宗はこうした動乱の時代を乗り越え、東北の雄から全国有数の大名へと成長をとげる。仙台城の築城、城下町の整備、新田の開発、寺社の造営・再興、北上川の河川工事等、仙台藩62万石の礎を築いた。

|             |      |          |      |             |
|-------------|------|----------|------|-------------|
| p. 102, 103 | 大単元名 | 6年 日本の歴史 | 小単元名 | 戦国の世から江戸の世へ |
|-------------|------|----------|------|-------------|

【指導に当たって】

- 慶長遣欧使節と支倉常長については、江戸幕府によるキリスト教の禁止と関連付けて学習を展開することができる。また、慶長遣欧使節がユネスコの世界記憶遺産に登録されていることについても触れたい。実物の資料については、仙台市博物館で見学できる。
- 林子平については、江戸時代の後期になり外国船が日本に開国を求め接近したことや、幕府を批判する学者などが現れたことと関連付けて、学習を展開することができる。

支倉常長像

ロザリオを持つ支倉常長が、キリストに祈りを捧げている。絵を折り曲げたような跡がある点に着目し、当時の日本ではキリスト教が禁止されていたことと関連があることに気付かせたい。



林子平

1738年、江戸に生まれる。兄が藩医となった縁で、家族と共に仙台に移り住む。子平は江戸や長崎など全国を遊歴し、ロシアの南下政策や欧米の植民地政策など外国の形勢を見聞した。「世界之図」は、子平が長崎で通訳の松村元綱が持っていた「世界之図」を模写したもの。「海国兵談」は子平の代表的著作。青葉区子平町の龍雲院に子平の墓がある。

慶長遣欧使節

サン・フアン・パウティスタ号に、総勢180人を乗せての船出であった。一行には宣教師のルイス・ソテロが同行し、通訳として活躍する。ソテロは政宗にローマに使節を送ることを熱心に勧めていた。

ローマ市民権証書・パウロ五世像

ローマ市議会が常長にローマ市の公民権を与え、貴族に列する旨を認めた証書。パウロ五世像は、常長らがローマで謁見した、ローマ教皇パウロ五世の肖像画。

|             |      |                                   |      |  |
|-------------|------|-----------------------------------|------|--|
| p. 104, 105 | 大単元名 | 6年 日本の歴史                          | 小単元名 | 長く続いた戦争と人々の暮らし<br>市のしょうかいをしよう<br>のこしたいもの、つたえたいもの |
|             |      | 3年わたしのまち みんなのまち<br>3年かわってきた人々の暮らし |      |  |

【指導に当たって】

- 仙台市戦災復興記念館では、戦時中の人々の暮らしや、仙台空襲の様子から街の復興までの様子について学ぶことができる。学習計画の中にぜひ施設の見学を位置付けたい。
- 地域の歴史を知る手がかりになる施設、様々な遺跡や道しるべ石、神社、寺などを取り上げている。遺跡や文化財に携わる人、博物館、公民館、地域の人に話を聞くなどしながら、学習を展開したい。また、教師が地域の歴史について調べる際、「仙台市史」等の自治体史も活用したい。

史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設/仙台城見聞館

どちらも文化財課管轄の施設であり、観覧無料で見学することができる。国分寺跡～博物館～見聞館など地下鉄東西線を利用した校外学習でも活用可能。ガイダンスの対応も行っている。(事前予約必要)

歴史を知る手がかり

遺跡や神社、寺、道しるべ石等から、地域の歴史に触れることができる。機会があれば、地域に残る歴史の跡を是非訪ねてみたい。



仙台市戦災復興記念館

昭和20年(1945)7月10日未明、午前0時3分、仙台市中心部に12,960発の爆弾が落され、約500haを焼失。身元が判明した方だけで、1064名もの人命が失われた。戦災復興記念館は、未来への記憶として、世代を超えて語り継ぐために、昭和56年(1981)に、戦災復興事業の締めくくりとして開館した。

仙台空襲を体験した方のお話 (元東二番丁小ゲストティーチャー 今井さん)

戦時中の仙台、空襲の様子を伝える資料。戦災復興記念館では学習教材用DVD資料を貸出す他、戦争の語り部の紹介、職員による館外での出前授業を受け付けている。授業に合わせて活用したい。

|             |      |                |      |                                    |
|-------------|------|----------------|------|------------------------------------|
| p. 106, 107 | 大単元名 | 6年 わたしたちの生活と政治 | 小単元名 | わたしたちの願いを実現する政治<br>わたしたちのくらしと日本国憲法 |
|-------------|------|----------------|------|------------------------------------|

【指導に当たって】

- 図から市民、市役所、市議会の関係をつかませ、市民の願いを実現するための政治の役割に気付かせたい。また、税金の使われ方から、市民の生活を支えるための税金の役割にも気付かせたい。
- 豊かなくらしを実現するために、日本国憲法がどのような働きをしているか考えさせたい。ここでは、「基本的人権の尊重」と子育てが安心してできるまちやユニバーサルデザインとの関わり、「国民主権」と裁判所の関わりについて取り上げている。

市民の願い、市役所、市議会

図から、市民の願いが政治によってどのように実現されるかをつかませることができる。市役所、市議会のそれぞれの役割を調べ、それぞれどのような関わりがあるかをつかませたい。



みんなが暮らしやすいまちに

誰でも安心して暮らすことができるまちづくりにはどのようなことが必要か、福祉の視点から考えさせたい。

仙台高等裁判所

高等裁判所は、主に第二審を担当し、札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、高松、福岡に置かれる。仙台高等裁判所では、小・中学生を対象とした見学を受け付けている。

所在地：青葉区片平1丁目6-1  
問い合わせ先：022-745-6195

税金の働き

税金が様々なことに使われていることについて、具体的な例を挙げて捉えさせたい。

|             |      |            |    |         |
|-------------|------|------------|----|---------|
| p. 108, 109 | 大単元名 | 4年きょう土をひらく | 資料 | 仙台市名誉市民 |
|-------------|------|------------|----|---------|

【指導に当たって】

仙台市の発展に尽くした、仙台市名誉市民について取り上げている。地域の発展につくした人々について調べ、その業績や苦心を知ることによって、地域に対する誇りと愛情を育てたい。

本文「仙台市名誉市民」

仙台市では、これまで22名の方々に、名誉市民の称号を送っている。ここではそれぞれの功績について紹介している。

「仙台市名誉市民について」

仙台市役所1階「市民ギャラリー」や仙台市のホームページで参照することができる。また、仙台市史通史編「現代2」にも名誉市民の業績がまとめられている。

※平成元年までの表彰者



《表彰年一覧》

- S 2 4 本多光太郎・志賀潔・土井林吉(晩翠)
- S 3 1 熊谷岱蔵・楨有恒
- S 3 4 村上武次郎・阿部次郎・増本量・野副鉄男
- S 3 6 内ヶ崎賛五郎
- S 3 9 一力次郎・黒川利雄
- S 4 4 千嘉代子
- S 5 2 菊地養之輔・加藤多喜雄
- S 5 9 西澤潤一
- H元 石田名香雄
- H 8 加藤陸奥雄・杉村惇
- H 1 6 小田滋 一力一夫
- H 2 6 岩崎俊一

**【指導に当たって】**

鉄の神様と言われた「本多光太郎」の業績を取り上げている。東北大学金属材料研究所本多記念館では、KS磁石鋼、新KS磁石鋼を始め、本多の業績がわかる様々な資料が展示されている。

**写真「本多光太郎」**  
KS磁石鋼の写真や、切手から本多の業績に関心を持たせたい。

**本文**  
本多は「産業は学問の道場」という言葉を残し、産学共同を重視、博士の尽力により、多くの新しい企業が仙台に誕生した。

**「本多光太郎の年譜」**  
光太郎に関する「出来事」や「業績」について、年代を追って記載した。少年期や青年期の様子については、本文から読み取らせたい。

**光太郎の少年時代**  
小学生時代は、「鼻たらしの光さん」と呼ばれ、特に暗記が苦手だった。そのためにしばしば学校へは行かずに魚とりなどをして過ごしていた。」と伝えられている。



**「KS磁石鋼」**  
鉄及び鉄合金の研究に励み、強力な磁石鋼であるKS磁石鋼を、さらにその4倍近い保磁力を持つ新KS磁石鋼を発明し、文化勲章を受章した。

**説明「寺田先生の言葉」**  
光太郎の才能を見出した寺田先生の言葉が、学問の道を強く志すきっかけとなった。

**「東北大学金属材料研究所本多記念館」**  
本多光太郎に関する資料が保管されている。青葉区片平2-1 Tel 215-2181

**【指導に当たって】**

「荒城の月」でも知られる詩人「土井晩翠」の業績を取り上げている。土井の業績については、立町小学校土井晩翠校歌資料室（主に校歌を中心に）、仙台文学館、晩翠草堂等で調べることができる。

**写真「土井晩翠」**  
「荒城の月」や土井晩翠が作った数々の校歌から晩翠の業績に関心を持たせたい。

**土井晩翠が作詞した学校の校歌**  
全国の学校と海外の日本人学校なども含めると195校もの校歌の作詞を手掛けている。

**「土井晩翠の年譜」**  
晩翠に関する「出来事」や「職業」について、年代を追って記載した。少年期や青年期の様子については、本文から読み取らせたい。

**「晩翠の少年時代」**  
「小さいころからお話を聞いたり本を読んだりするのが大好きな子供だったそうです。字の読めないうちは、和歌や俳句に親しんでいた父親や祖母に昔話をよくねだっていました。  
小学校に通うようになると、中国の歴史物語を夢中で読んでいました。「その熱心さには、担任の先生も感心するほどだった。」と伝えられている。



**情報コーナー「仙台文学館」**  
晩翠については仙台文学館の「晩翠コーナー」で展示されている。文学館では、館内見学の際の講座や、学校への出前授業も受け付けている。  
仙台文学館  
青葉区北根2-7-1  
Tel 022-271-3020

**写真「土井晩翠校歌資料室」**  
立町小学校の中に晩翠が残した、たくさんの資料が展示されている。立町小／青葉区立町8-1

**「土井晩翠先生作詞の校歌をいっしょに歌いましょうの会」**  
木町通小、立町小、片平丁小、北六番丁小の他、各団体が集まり、「荒城の月」の合唱や、土井晩翠が作詞した校歌の披露などが行われる。

**「市民合唱」**  
毎年、土井晩翠の命日（10月19日）に、晩翠顕彰会が「荒城の月」の碑の前で、「荒城の月」の大合唱を行う記念行事を開催している。

|           |      |            |      |                |
|-----------|------|------------|------|----------------|
| 折込<br>ページ | 大単元名 | 4年 わたしたちの県 | 小単元名 | 世界とつながるわたしたちの県 |
|           |      | 5年 世界の中の国土 |      | わたしたちの国土       |

【指導に当たって】

仙台市の国際姉妹・友好都市にてついて取り上げている。宮城県と他地域、外国との結びつきについて調べる学習の資料として活用できる。

世界地図・説明

各国際姉妹・友好都市の場所と挨拶を紹介し、様々な国の言葉に触れさせたい。

説明

各国際姉妹・友好都市名と、締結年が紹介されている。それぞれの都市との提携動機等の詳細については、仙台市のホームページを参照することができる。他に、交流促進協定締結都市・台南市(台湾)、産業振興に関する協定締結都市・オウル市(フィンランド共和国)がある。



写真

各都市の様子を知る手掛かりとして、各国際姉妹・友好都市の特徴的な建物や祭りの様子、町並みなどを紹介したい。また、地図帳を使って、国や都市の位置を確かめさせたい。

※参考 仙台市の国内姉妹都市  
 音楽姉妹都市：竹田市（大分県）、  
 中野市（長野県）  
 観光姉妹都市：徳島市（徳島県）  
 歴史姉妹都市：宇和島市（愛媛県）、  
 白老町（北海道）

<国際姉妹・友好都市>

○リバサイド市(アメリカ合衆国)～風光明媚な南カリフォルニアの中心にあるリバサイド郡の郡都で、郡の西部に位置し、ロサンゼルスから車で一時間程度のところにある。かつて柑橘産業が盛んだったため、その時代の遺産が随所に見られる歴史の街。現在は小売業とエンターテイメント産業において継続的に発展しており、南カリフォルニア第三の郊外小売業中心都市である。また、教育水準も高く、数多くの研究機関が集積している。人口約 32 万人。

○レンヌ市(フランス共和国)～ブルターニュ州の州都であり、政治・経済・文化の中心地。中世以来の伝統的な建築と近代的な建築とが調和した落ち着いた落ち着きのあるまち。多くの高等教育機関や研究機関があり、ブルターニュの学術研究の中心的役割を果たしている。また、農林漁業の中心地で畜産、酪農等が盛んであり、バイオ・テクノロジーを利用した食品加工業も盛んになってきている。通信光学関係の研究も盛んで産・学・官共同のプロジェクトであるレンヌ・アタラントを中心に日本企業の進出も進んでいる。人口約 21 万人。

○ミンスク市(ベラルーシ共和国)～古くからの歴史と伝統を持つ都市で現在ベラルーシ共和国の首都。姉妹都市提携当時は、旧ソ連邦の白ロシア共和国だったが、1991年に独立し、国名をベラルーシ共和国と改め、現在にいたっている。第2次世界大戦による戦災で古い街並みは失われたが、戦後著しい復興を遂げ、自動車やトラクターなどの生産が盛んな工業都市として生まれ変わった。また、ベラルーシ国立大学をはじめとする大学や研究機関、オペラ、バレエ劇場や博物館、美術館などの文化施設が数多く立地する学術・文化都市でもある。人口約 190 万人。

○アカプルコ市(メキシコ合衆国)～メキシコ合衆国太平洋岸ゲレーロ州最大の都市。首都メキシコシティから約 400km の地点に位置し、太平洋岸でも最も古く、また、美しい港のひとつであるアカプルコ港を有する。美しい砂浜と変化に富んだ海岸線で知られる国際的な観光保養都市であり、主な産業は観光業である。1614年(慶長19年)の慶長遣欧使節支倉常長アカプルコ上陸を縁として、姉妹都市提携がなされた。人口約 79 万人

○長春市(中華人民共和国)～吉林省の省都で、肥沃な土壌をベースに農業が発達しており、「東北食糧庫」と称されている。工業では「長春第一自動車グループ」等を中心とする交通運輸設備製造業が主体であるほか、電子・光学・食品・軽紡化学・建材等の産業が発達しており、また映画産業も盛んである。また、吉林大学など 25 以上の大学をはじめ、数多くの高等教育機関や研究所があり、教育の中心地でもある。総人口約 757 万人

○ダラス市(アメリカ合衆国)～商業、流通、金融、製造業が盛んなアメリカ合衆国中南部の拠点都市。全米最大規模のダラス・フォートワース国際空港や世界最大の卸売展示場であるダラス・マーケットセンターなどの施設があり、全米有数のコンベンション都市である。プロスポーツの盛んな都市としても有名で、アメリカンフットボール、バスケットボール、野球、サッカー、アイスホッケーなどのプロチームが本拠地としている。人口約 128 万人。

○光州広域市(大韓民国)～首都ソウルから南へ約 330km、飛行機で約 40 分のところに位置する大韓民国南西部の政治・経済・文化・教育の中心地。韓国南西地域を代表する芸術の都と言われ、パンソリ(物語を歌唱化した民族芸能)の発祥地であり、墨の香りが漂う南宗画(韓国画)もさかんである。また、1995年(平成7年)から世界美術博覧会「光州ビエンナーレ」を創設し、韓国の文化芸術を世界に広めることを目指している。他にも、先端産業団地の整備や科学技術院の設置などを行い、先端技術産業の育成・誘致にも力を注いでいる。人口約 149 万人。

～仙台市ホームページより

